

■最近の話題を考える“知財NEWS” 知財トピックス（2015.4）

「J-PlatPat」で検索できるようになった「J-GLOBAL」とは

特許業務法人 前田特許事務所
弁理士 大石憲一



今回の知財ニュースは、3月23日から運用が開始された「J-PlatPat（ジェイ・プラットフォーム）」で、新たに検索ができるようになった「J-GLOBAL（ジェイ・グローバル）」についてです。

この「J-GLOBAL」とは、独立行政法人科学技術振興機構が行っているサービスで、これまで各々独立していた技術論文等の科学技術情報等を繋いで検索することができるサービスです。簡単に言うと「キーワードを入れるだけで、日本国内のあらゆる科学技術情報にアクセスすることができる公的なサイト」ということです。



「J-GLOBAL」独自の検索画面

この J-GLOBAL は、もちろん独自の検索画面で検索することができますが、「J-PlatPat」の特許情報を検索する「テキスト検索」画面でも、蓄積情報を検索することができます。

このため、知財担当者が先行技術調査や無効資料調査を行う際に、特許文献だけではなく技術文献等も検索することができることになり、より広範囲に調査を行うことができるようになりました。

しかし、実際に使ってみると、本格的に使うにはまだまだである、と感じました。それは、一部の文献については PC で直接内容を確認することができますが、ほとんどの文献が「形式的な情報」だけで、内容を確認するには、東京の「情報資料館」や筑波の「つくば資料センター」に行って文献を閲覧するか、または、高い複写費用を払って複写資料を取り寄せるしかないからです。

過去、特許文献も複写費用を払って情報を入手するという時代がありました。現在では全て PC 経由で、無料で内容を見ることができます。J-GLOBAL の技術文献についても同様に、PC 経由で、無料で全ての内容を確認できる時代が来ればよいと思います。

以上